

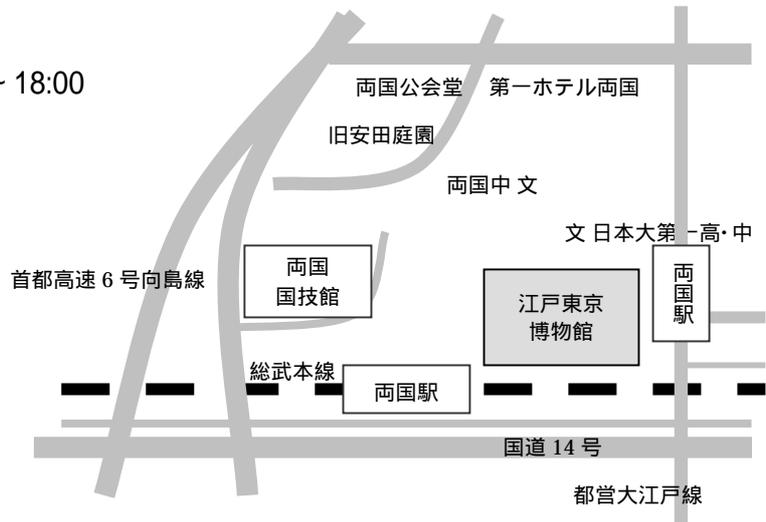
拡大する地方環境税を検証する

～ 森林環境税・産業廃棄物税は持続可能な地域社会の実現に貢献するか～

【日時】 2005年2月12日(土) 13:00～18:00

【会場】 江戸東京博物館 会議室
東京都墨田区横網1-4-1
(03-3626-9974)
両国駅徒歩5分

【参加費】 1,000円
(JACSES賛助会員:500円)



【プログラム】

第一部 森林環境税について(13:00～15:20)

- < 報告1 > JACSES「森林環境税とは」
- < 報告2 > 栗山浩一氏(早稲田大学政治経済学部助教授)
「森林の価値と森林環境税」
- < 報告3 > 藤原敬氏(独立行政法人森林総合研究所理事)
「森林政策と森林環境税」
- < 質疑応答・討論 > 「森林環境税をめぐる論点を多角的に検討」

第二部 産業廃棄物税について(15:40～18:00)

- < 報告1 > JACSES「産業廃棄物税とは」
- < 報告2 > 野村浩氏(三重県環境森林部廃棄物対策室主幹)
「産業廃棄物税導入後の状況」
- < 報告3 > 倉阪秀史氏(千葉大学法経学部助教授)
「産業廃棄物税を導入した自治体の比較と今後のあり方」
- < 質疑応答・討論 > 「産業廃棄物税をめぐる論点を多角的に検討」

環境問題解決の手段として地方自治体で環境税の検討が進んでいます。多くの自治体による「産業廃棄物税」、「森林水源税」などです。持続可能な地域社会を実現するため、それぞれの地域特性に合致した社会の変革が必要であり、地方の公的資金改革が急務となっています。地方の環境税財政改革を適切な形で進めるため、地方自治体の役割を考察し、特に検討・導入が進んでいる産業廃棄物税と森林環境税について検証します。

講演者紹介 (講演順)

栗山 浩一 氏(早稲田大学政治経済学部助教授)

京都大学農学博士取得。現在、早稲田大学政治経済学部助教授。この間に、日本林学会賞受賞(「森林の環境価値と CVM 評価: 評価手法の確立と環境政策への適用」)、カリフォルニア大学バークレー校客員研究員、日本学術振興会海外特別研究員を務める。

藤原 敬 氏(独立行政法人森林総合研究所理事)

東京大学農学博士取得。林野庁(高知営林局・広島県林務部・中部森林管理局名古屋分局など)を経て、現在、独立行政法人森林総合研究所理事、ウッドマイルズ研究代表運営委員を務める。氏の HP「持続可能な森林経営のための勉強部屋」では、森林管理に関する様々な情報を掲載している。

野村 浩 氏(三重県環境森林部廃棄物対策室主幹)

環境税(産業廃棄物税)・産業廃棄物処理業許可・自動車リサイクル法・ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物の適正な処理の推進を業務とする、三重県環境森林部廃棄物対策室で主幹を務め、産業廃棄物税を担当。なお、三重県は全国に先駆けて産業廃棄物税を導入した自治体である。

倉阪 秀史 氏(千葉大学法経学部助教授)

環境庁(自然保護局・大気保全局・企画調整局)、米国メリーランド大学客員研究員を経て、現在、千葉大学法経学部助教授を務める。地方環境税に関する論文として、「産業廃棄物税の現状と動向」(廃棄物学会誌 Vol.14, No.4, 171-181 頁 2003)など。著書に「環境政策論」(信山社 2004.1)など。

【主催】

「環境・持続社会」研究センター (JACSES)

【問い合わせ先】

「環境・持続社会」研究センター(JACSES) 担当: 野口

〒106-0047 東京都港区南麻布 5-2-32, 興和広尾ビル 2F

Phone: 03-3447-9585 Fax: 03-3447-9383 Email: jacsces@jacsces.org

<http://www.jacsces.org/>

本セミナーは、WWF 日興グリーンインベスターズ基金の助成を受けて行われます。